

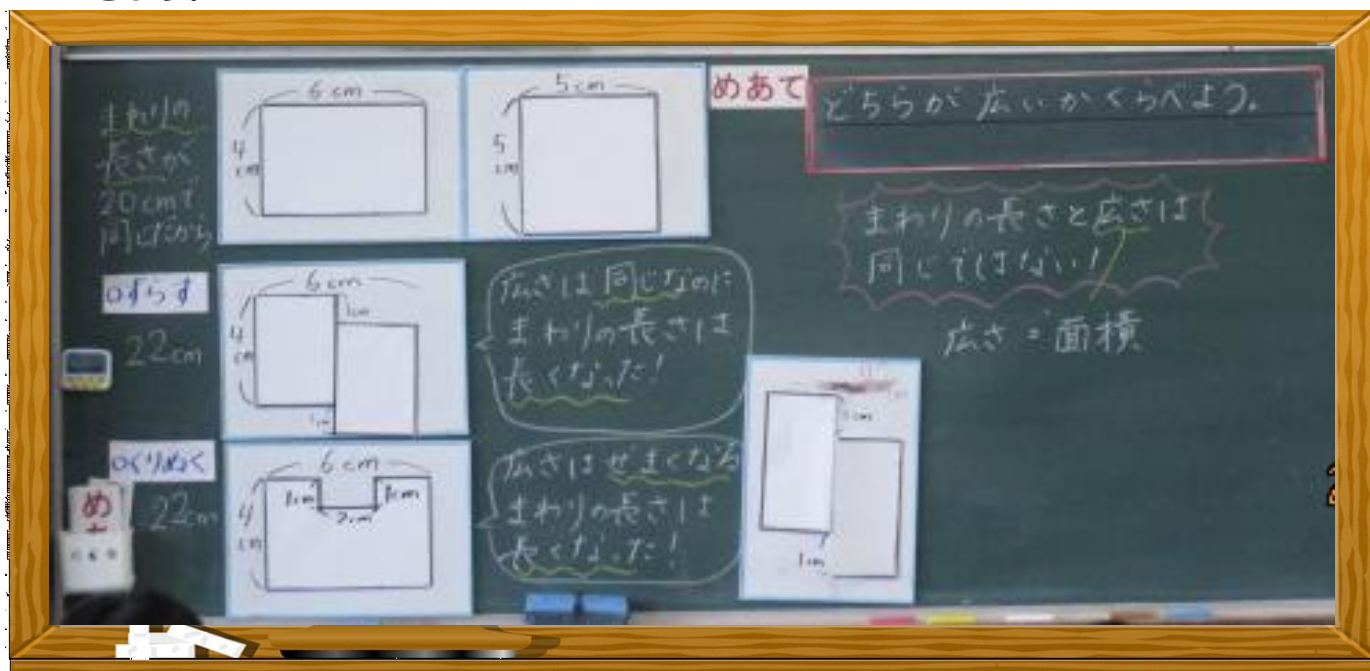
授業者も！参加者も！学ぶ!!高まる!!広げる!! 西部の算数・数学の未来へのバトンをつなぐ



平成30年8月20日(月)
西部教育事務所

7月31日(火)に入野小学校において、教材研究会が行われました。2回目の教材研究会ということもあり、前回までの学びを生かしての提案となりました。子どもの実態や教材から見とれる課題の所在を明らかにしながら、面積の導入における学習についての授業が提案されました。

今回も、一つの学校から複数名の先生で参加される学校もあり、参加体制からもこの授業づくり講座で学んだことを自校で生かせるようにとの意図を感じることができます。



今回の授業

黒潮町立入野小学校 4年「広さを調べよう」 堀教諭

面積の導入場面の提案授業でした。レディネステストの結果からも、ほとんどの子どもが周りの長さが同じであれば面積は等しいと答えている子どもが多かったようです。そこで、周りの長さとの面積の関係性を明らかにしていき、広さ比べを行う活動を位置付け、単位面積の何個分かで面積は表せることができることに気付かせようとしていました。



授業者の声

今回の提案授業では、児童の目線に立った活動を位置付けることができていませんでした。更に、理解に時間のかかる子どもたちにとっては、突発的な授業になってしまうことがよく分かりました。

面積指導においては、「なぜ 1m^2 なのか？」といった基本を問うことを大切にしながら、もっとダイナミックに展開していく必要があることが分かりました。導入では、教室などのしきつめをさせながら、単位の必要性に気付かせるようにしていきたいと考えています。



参会者の声

模擬授業を行うことで、自分だったらこうするなど、自分事として考えることができました。

また、齋藤先生の話から、広さ比べは活動させることの大切さを再認識しました。楽しみながら広さを実感させるなど、忘れられない活動を仕組んでいきたいと思いました。

(入野小 A教諭)

参会者の声

周と面積と関係について、自分の知識がなく授業を進めていたように思います。反質をしっかりと理解して授業に臨みたいと思います。子どもたちから活動を通して、 1m^2 の必要性に気付かせるようにしていきたいと思います。

(黒潮町内 B教諭)



齋藤先生からは、以下のような指導（一部抜粋）をしていただきました。

(1) 概念と指導内容

◎「周と面積は依存するのか？しないのか？」

- ・ 依存関係に着目させていく点で授業を組織することはできるが、単元の最初に扱うことは子どもにとってはあまりにも唐突過ぎる話である。子どもの学びの一連の文脈の中で正しいかどうかは別の話である。
- ・ 和一定と積一定を組み合わせることによって依存関係の学習を行う。関数の関係を見せる中で、周と面積の関係は「面積が一定でも辺の長さの組み合わせは違う」とか、「辺の長さは一定であっても面積は変わる」という両者の関係から、2つの依存関係について学習するようになっている。

(2) 面積指導の基本

◎『なぜ 1m^2 なのか？』を問う

- ① 広さ比べにおいては、広いスペースで任意単位を用いて実測することで、測定の手間や苦労を実感させる。つまり、敷き詰めることは大変だということに気付かせる。
- ② 次に、縦横に並ぶ枚数によって総数を求めるが、縦横にすら並べなくても、縦横の測定値から総数を求めることができることに気付かせる。

「10・11月の学び場」のお知らせ

10月30日(火) 入野小授業研究会(PM)

11月 9日(金) 片島中授業研究会(PM)

11月16日(金) 具同小授業研究会(PM)

11月 2日(金) 中村中授業研究会(PM)

11月15日(木) 清水中授業研究会(PM)